

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホーブ

コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 政場 秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 吉田 周史

TEL 0166-83-3555

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	2,165	△14.9	△37	—	△32	—	△38	—
28年6月期第2四半期	2,545	△14.7	43	6.9	50	18.6	3	△85.2

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 △38百万円 (—%) 28年6月期第2四半期 3百万円 (△85.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	△50.70	—
28年6月期第2四半期	5.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年6月期第2四半期	2,186	—	830	—	38.0	1,090.30
28年6月期	1,175	—	868	—	73.9	1,140.34

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 830百万円 28年6月期 868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,220	—	△76	—	△72	—	△80	—	△105.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) (株)ホープ21、(株)ジャパンポテト
(注)詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	762,000 株	28年6月期	762,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	146 株	28年6月期	75 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	761,913 株	28年6月期2Q	761,925 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、アジア新興国の景気減速やイギリスのEU離脱問題等の国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」に加え、新品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録申請名「ペチカほのか」）の販売を本格的に開始し、いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

また、当第2四半期より、当社の子会社であった株式会社ホープ21及び株式会社ジャパンポテトを吸収合併し、グループの経営資源の集約、業務の効率化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,165,114千円（前年同期比14.9%減少）、営業損失37,166千円（前年同期は営業利益43,887千円）、経常損失32,723千円（前年同期は経常利益50,781千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は38,628千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,885千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当第2四半期連結累計期間においては、夏秋期は自社品種である「ペチカプライム」「ペチカサンタ」と輸入いちごを、その後は国産促成いちご（とちおとめ、さがほのかなど）を主に販売しております。

主力となる自社品種においては、7月中下旬より出荷量が一時的に増加することを想定し、業務用だけでなく、加工用などの新たな販路の開拓を行うとともに、食味の良い新品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録申請名「ペチカほのか」）を生食用として積極的に販売展開してまいりました。しかしながら、業務用の販売数量の減少と9月の自社品種の出荷数量の落ち込みによって、販売数量の抑制を余儀なくされました。さらに10,11月の出荷数量も9月の全国的な日照不足の影響で回復せず、売上高、利益ともに前年を下回りました。

最需要期となるクリスマス期におきましては、促成いちごの定植時期となる9月の極端な日照不足が株の初期生育に影響し、市場への入荷量が例年に比べ少なく、市場相場価格が高騰いたしました。取引先への販売価格の上昇により売上高は前年より増加しましたが、クリスマス以降も高値傾向は続き、固定価格での販売先に対する利益が大幅に減少する結果となりました。

その他の青果物については、既存取引先のアイテム縮小などにより取扱量が減少することとなりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高1,781,359千円（前年同期比0.6%増加）、営業利益は9,086千円（前年同期比87.8%減少）となりました。

(種苗事業)

種苗生産販売事業は、自社いちご品種の「ペチカプライム」「ペチカサンタ」、新品種「ペチカほのか」の3品種に加えて、当第2四半期より新品種「ペチカエバー」の種苗の生産販売が始まりました。

栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね2体系の作型があります。当第2四半期連結累計期間におきましては、主に秋定植用苗を販売しております。前年同期と比べて、新たに秋定植を始める生産者がいたものの、全体としては高齢化による栽培休止や規模縮小の影響により、苗販売数量は約8%の減少となりました。

この結果、種苗事業の売上高は8,791千円（前年同期比3.7%減少）、営業利益は434千円（前年同期比8.9%増加）となりました。

(馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなり、主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第2四半期連結会計期間におきましては、主に春作種馬鈴薯販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、昨年4月に発生した熊本地震の影響と、北海道において8月に4個の台風が上陸または接近した影響で、主な馬鈴薯の仕入産地で生産量が減少し、馬鈴薯の仕入を十分に行うことができなかったため、売上高、利益ともに前年同期を下回ることとなりました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は332,341千円（前年同期比54.2%減少）、営業利益は25,545千円（前年同期比52.8%減少）となりました。

(運送事業)

運送事業は、関東圏を中心として、株式会社エス・ロジスティクスが行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、当社の商品配送を中核としつつ、一般荷主からの配送業務受託を積極的に推進して売上増加を図ってまいりました。また、利益につきましては、自社配送原価を抑制することと、提携業者並びに共同配送業者を効率的かつ積極的に運用することで、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、運送事業の売上高は42,622千円(前年同期比8.2%増加)、営業利益は9,981千円(前年同期比77.0%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,002,233千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で1,893,256千円となりました。これは売掛金が増加したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して8,689千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で293,064千円となりました。これは投資その他の資産が増加したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,056,231千円増加し、当第2四半期連結会計期間末で1,237,046千円となりました。これは買掛金及び短期借入金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して7,105千円減少し、当第2四半期連結会計期間末で118,626千円となりました。これは退職給付に係る負債が減少したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して38,202千円減少し、830,648千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から38.0%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して109,722千円増加して562,338千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は271,280千円(前年同期は331,582千円の使用)となりました。これは主に、仕入債務651,111千円の増加があったものの、売上債権908,376千円の増加、たな卸資産67,316千円の増加および税金等調整前四半期純損失32,526千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は18,905千円(前年同期は6,102千円の使用)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入10,295千円があったものの、敷金及び保証金の差入による支出24,651千円および有形固定資産の取得による支出4,693千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果取得した資金は399,908千円(前年同期は268,476千円の取得)となりました。これは主に短期借入れによる収入400,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想などにつきましては、当第2四半期決算短信においては修正をしておりますが、経営環境及び最近の業績動向を勘案し、平成29年2月6日付にて平成28年8月10日に公表した予想数値を修正いたしました。

なお、当該予想数値に関する詳細は、平成29年2月6日に開示しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社かつ特定子会社でありました株式会社ホープ21及び株式会社ジャパンポテトは当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,624	563,346
売掛金	278,674	1,187,050
たな卸資産	56,344	123,661
未収還付法人税等	1,482	—
その他	101,202	19,670
貸倒引当金	△306	△472
流動資産合計	891,022	1,893,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,947	105,492
機械装置及び運搬具(純額)	41,991	42,575
土地	70,111	70,111
その他(純額)	1,290	2,343
有形固定資産合計	222,341	220,522
無形固定資産		
のれん	20,950	19,553
その他	2,080	4,272
無形固定資産合計	23,030	23,825
投資その他の資産		
その他	40,430	50,142
貸倒引当金	△1,426	△1,426
投資その他の資産合計	39,003	48,715
固定資産合計	284,375	293,064
資産合計	1,175,398	2,186,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,746	747,858
短期借入金	—	400,000
未払法人税等	14,312	3,148
賞与引当金	1,767	—
その他	67,987	86,039
流動負債合計	180,814	1,237,046
固定負債		
退職給付に係る負債	41,083	34,333
役員退職慰労引当金	81,560	82,545
その他	3,088	1,748
固定負債合計	125,732	118,626
負債合計	306,546	1,355,672

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	15,834	△22,793
自己株式	△90	△166
株主資本合計	869,244	830,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	108
その他の包括利益累計額合計	△392	108
純資産合計	868,851	830,648
負債純資産合計	1,175,398	2,186,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,545,654	2,165,114
売上原価	2,067,722	1,802,931
売上総利益	477,932	362,183
販売費及び一般管理費	434,045	399,349
営業利益又は営業損失(△)	43,887	△37,166
営業外収益		
受取利息	422	433
受取配当金	—	12
受取保険金	—	2,350
貸倒引当金戻入額	4,054	—
その他	2,490	1,649
営業外収益合計	6,967	4,444
営業外費用		
支払利息	72	1
その他	—	0
営業外費用合計	72	2
経常利益又は経常損失(△)	50,781	△32,723
特別利益		
固定資産売却益	—	200
特別利益合計	—	200
特別損失		
固定資産除却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,781	△32,526
法人税等	46,896	6,102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,885	△38,628
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,885	△38,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,885	△38,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	501
その他の包括利益合計	△117	501
四半期包括利益	3,768	△38,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,768	△38,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,781	△32,526
減価償却費	9,012	7,929
のれん償却額	1,396	1,396
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,054	165
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,731	△6,750
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	△1,767
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,885	985
受取利息及び受取配当金	△422	△445
支払利息	72	1
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△200
固定資産除却損	—	2
売上債権の増減額(△は増加)	△995,222	△908,376
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,488	△67,316
仕入債務の増減額(△は減少)	611,883	651,111
その他	79,098	95,673
小計	△327,298	△260,114
利息及び配当金の受取額	45	24
利息の支払額	△85	△10
法人税等の支払額	△18,951	△15,325
法人税等の還付額	14,706	4,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	△331,582	△271,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,008
定期預金の払戻による収入	—	1,008
有形固定資産の取得による支出	△2,839	△4,693
貸付けによる支出	△1,360	—
貸付金の回収による収入	22	136
敷金及び保証金の差入による支出	△15,640	△24,651
敷金及び保証金の回収による収入	13,965	10,295
その他	△250	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,102	△18,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	—
配当金の支払額	△11,523	△15
自己株式の取得による支出	—	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	268,476	399,908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,208	109,722
現金及び現金同等物の期首残高	454,805	452,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	385,596	562,338

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	いちご 果実・青果 事業	種苗事業	馬鈴薯事業	運送事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,771,393	9,130	725,749	39,381	2,545,654	—	2,545,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	88,674	88,674	△88,674	—
計	1,771,393	9,130	725,749	128,055	2,634,328	△88,674	2,545,654
セグメント利益	74,500	399	54,136	5,637	134,673	△90,786	43,887

(注) 1. セグメント利益の調整額△90,786千円には、セグメント間取引消去388千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,174千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	いちご 果実・青果 事業	種苗事業	馬鈴薯事業	運送事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,781,359	8,791	332,341	42,622	2,165,114	—	2,165,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	93,326	93,326	△93,326	—
計	1,781,359	8,791	332,341	135,949	2,258,441	△93,326	2,165,114
セグメント利益	9,086	434	25,545	9,981	45,046	△82,213	△37,166

(注) 1. セグメント利益の調整額△82,213千円には、セグメント間取引消去5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,218千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。